



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年7月31日

上場会社名 サノヤスホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7022 URL <https://www.sanoyas.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北達 伊佐雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 福井 直也 (TEL) 06-4803-6171  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	3,545	12.9	△620	—	△520	—	△545	—
2023年3月期第1四半期	3,140	△18.0	△545	—	△396	—	△387	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 △311百万円(—%) 2023年3月期第1四半期 △481百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	△16.31	—
2023年3月期第1四半期	△11.70	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	26,700	7,531	27.9
2023年3月期	25,702	8,010	30.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 7,456百万円 2023年3月期 7,935百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2024年3月期	—				
2024年3月期(予想)		0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	14.2	500	422.9	500	26.5	300	△29.5	9.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	33,473,786株	2023年3月期	33,473,786株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	47,215株	2023年3月期	47,215株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	33,426,571株	2023年3月期1Q	33,115,256株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	増減額	増減率 (%)
売上高	3,140	<b>3,545</b>	404	12.9
営業利益	△545	<b>△620</b>	△75	—
経常利益	△396	<b>△520</b>	△123	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	△387	<b>△545</b>	△157	—

売上高は、主に前年同期に電子部品・部材の長納期化の影響を大きく受けて落ち込んだ建設業向けセグメントの復調、また前年8月にM&Aで買収した松栄電機(株)の売上高が寄与したため、増収となりました。

営業利益は、事業の特性上、第1四半期は売上が少なく損失を計上する傾向にありますが、当第1四半期は、レジャーセグメントにおいてパレットタウン大観覧車の営業が終了したことにより減収減益になったことから、赤字幅を広げる結果となりました。

経常損失の拡大は、政策投資株式の配当が減少したことによるものです。

(単位：百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	増減額	増減率 (%)
受注高	4,239	<b>5,666</b>	1,427	33.7
受注残高	11,854	<b>16,100</b>	4,245	35.8

レジャーセグメントにおいて、大口受注を獲得する等受注は総じて順調であり受注高、受注残高ともに大きく伸ばしています。

セグメント区分

	製造業向けセグメント	建設業向けセグメント	レジャーセグメント
サノヤス・エンジニアリング(株) 機械式駐車装置の製造及びメンテナンス ショットブラストマシンの製造及びメンテナンス 建設工事用エレベーターの製造及びレンタル	○	○ ○	
サノヤス精密工業(株) 各種産業機械部品の製造及び組立 農機及び特装自動車用部品の製造及び組立	○ ○		
みづほ工業(株)、美之賀機械(無錫)有限公司 乳化・攪拌装置の製造 純水設備・排水処理設備及び膜分離装置の設計及び施工 大型食品タンク等各種タンクの設計及び施工	○ ○ ○		
サノヤス・エンテック(株) 空調・給排水・衛生設備の設計及び施工 環境装置の製造及びメンテナンス 医療廃棄物処理装置の製造及びメンテナンス	○ ○	○	
ハピネスデンキ(株) 大規模施設向け動力制御盤・分電盤・配電盤等の製造及び電気工事		○	
松栄電機(株)、松栄電気システムコントロール(株) 通信インフラ向け配電盤・分電盤等の製造		○	
サノヤス・ライド(株)、サノヤス・ライドサービス(株) 遊園地遊戯機械設備の製造及びメンテナンス 遊園地施設の運営管理の受託			○ ○

## (製造業向けセグメント)

	前第1四半期	当第1四半期	増減額	増減率 (%)
売上高	1,313	<b>1,334</b>	20	1.6
営業利益	△132	<b>△154</b>	△21	—
受注高	1,736	<b>1,737</b>	1	0.1
受注残高	4,858	<b>5,742</b>	883	18.2

売上高は、純水設備・排水処理設備やショットブラストマシンの製造、乳化・攪拌装置のメンテナンスが順調に推移しましたが、半導体・電子機器の需要減退により産業機械部品の製造が落ち込んだため、微増に留まりました。営業利益は、産業機械部品の製造において稼働率が低下し、赤字が若干拡大する結果となりました。

受注高は、乳化・攪拌装置の製造及び環境装置の製造が堅調でしたが、産業機械部品の製造が低調であったため前年並みとなりました。

## (建設業向けセグメント)

	前第1四半期	当第1四半期	増減額	増減率 (%)
売上高	994	<b>1,530</b>	535	53.9
営業利益	△289	<b>△191</b>	98	—
受注高	2,025	<b>2,579</b>	554	27.4
受注残高	5,592	<b>8,776</b>	3,184	56.9

売上高は、前年同期に電子部品・部材の長納期化の影響を受けた高層ビル用の配電盤を主体とする動力制御盤・分電盤・配電盤等の製造、機械式駐車装置のリニューアル工事が復調及び空調・給排水・衛生設備の設計及び施工が伸長した他、前年8月にM&Aで買収した松栄電機㈱の売上高が寄与したため、大幅増収となりました。但し、建築業界特有の第4四半期に売上計上が集中する傾向には変わりなく、赤字幅を圧縮したものの営業損失を計上することになりました。

受注については、動力制御盤・分電盤・配電盤等の製造が順調に積み上がり、受注高、受注残高ともに大きく伸長しました。

## (レジャーセグメント)

	前第1四半期	当第1四半期	増減額	増減率 (%)
売上高	832	<b>680</b>	△151	△18.2
営業利益	243	<b>118</b>	△124	△51.2
受注高	477	<b>1,349</b>	871	182.5
受注残高	1,403	<b>1,581</b>	178	12.7

当第1四半期は、引き続き部品・整備に注力したものの、遊園地遊戯機械設備の販売が少なかったこと、遊園地施設運営において2022年8月31日に営業を終了したパレットタウン大観覧車の売上がなくなること、休日やゴールデンウィークの天候不順が来客に影響したことから、前年同期比減収減益となりました。

受注については、大口の遊園地遊戯機械設備の販売を獲得し、大きく受注高を伸ばしました。

## (2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	前会計年度	当第1四半期	増減額	主な増減理由
流動資産	11,807	12,510	703	受取手形及び売掛金 $\Delta 2,955$ 現金及び預金 1,995 仕掛品 1,033 電子記録債権 277 契約資産 165 原材料及び貯蔵品 134
固定資産	13,895	14,189	294	投資有価証券 341
流動負債	10,395	12,356	1,960	支払手形及び買掛金 $\Delta 1,139$ 賞与引当金 $\Delta 222$ その他流動負債 $\Delta 201$ 短期借入金 2,800 電子記録債務 818
固定負債	7,296	6,812	$\Delta 483$	長期借入金 $\Delta 557$
純資産	8,010	7,531	$\Delta 479$	その他有価証券評価差額金 231 利益剰余金 $\Delta 712$

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、現時点においては2023年5月12日に公表した数値を見直ししておりません。

(今後の当社グループの業績におけるリスク要因)

- ・地政学リスク等による部品・部材調達の遅れや原材料価格の上昇が製造業向け・建設業向けセグメントに影響を与えるリスク
- ・コロナ禍の再拡大がレジャーセグメントの事業環境悪化を招くリスク
- ・台風や地震等自然災害が当社や協力会社などのサプライチェーン及び顧客に与えるリスク
- ・グローバル経済の減速が顧客の売上や設備投資に影響するリスク

今後、こうした要因を含め、業績予想の修正開示が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,389	3,384
受取手形及び売掛金	5,119	2,164
契約資産	300	466
電子記録債権	1,003	1,280
商品及び製品	243	229
仕掛品	1,565	2,598
原材料及び貯蔵品	1,179	1,313
その他	1,018	1,081
貸倒引当金	△13	△9
流動資産合計	11,807	12,510
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,275	3,249
機械及び装置（純額）	1,601	1,743
土地	2,831	2,831
その他（純額）	582	454
有形固定資産合計	8,292	8,279
無形固定資産		
ソフトウェア	353	370
のれん	679	656
その他	17	17
無形固定資産合計	1,050	1,044
投資その他の資産		
投資有価証券	3,853	4,194
繰延税金資産	222	193
退職給付に係る資産	278	278
その他	206	207
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	4,552	4,865
固定資産合計	13,895	14,189
資産合計	25,702	26,700

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,575	1,436
電子記録債務	983	1,801
短期借入金	2,250	5,050
1年内返済予定の長期借入金	1,797	1,624
未払法人税等	91	9
契約負債	1,030	1,181
賞与引当金	370	147
保証工事引当金	69	63
受注工事損失引当金	3	16
リース債務	222	224
その他	1,002	800
流動負債合計	10,395	12,356
固定負債		
長期借入金	3,660	3,103
リース債務	575	524
繰延税金負債	1,084	1,174
退職給付に係る負債	1,661	1,693
資産除去債務	311	311
その他	2	4
固定負債合計	7,296	6,812
負債合計	17,691	19,168
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,603	2,603
資本剰余金	22	22
利益剰余金	3,506	2,794
自己株式	△9	△9
株主資本合計	6,122	5,410
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,619	1,851
繰延ヘッジ損益	1	7
為替換算調整勘定	60	68
退職給付に係る調整累計額	130	118
その他の包括利益累計額合計	1,812	2,046
新株予約権	75	74
純資産合計	8,010	7,531
負債純資産合計	25,702	26,700



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	3,140	3,545
売上原価	2,454	2,899
売上総利益	686	645
販売費及び一般管理費	1,231	1,266
営業損失(△)	△545	△620
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	179	119
その他	11	10
営業外収益合計	194	132
営業外費用		
支払利息	32	26
その他	13	5
営業外費用合計	46	32
経常損失(△)	△396	△520
特別利益		
固定資産売却益	—	1
特別利益合計	—	1
税金等調整前四半期純損失(△)	△396	△518
法人税、住民税及び事業税	15	15
法人税等調整額	△24	11
法人税等合計	△9	26
四半期純損失(△)	△387	△545
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△387	△545

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純損失(△)	△387	△545
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△141	231
繰延ヘッジ損益	21	5
為替換算調整勘定	25	8
退職給付に係る調整額	1	△11
その他の包括利益合計	△93	233
四半期包括利益	△481	△311
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△481	△311
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	製造業向け	建設業向け	レジャー			
売上高						
一時点で移転される財 又はサービス	1,290	525	716	2,532	—	2,532
一定の期間にわたり移転 される財又はサービス	23	469	116	608	—	608
顧客との契約から生じ る収益	1,313	994	832	3,140	—	3,140
外部顧客への売上高	1,313	994	832	3,140	—	3,140
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,313	994	832	3,140	—	3,140
セグメント利益又は 損失(△)	△132	△289	243	△179	△366	△545

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額△366百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△371百万円、貸倒引当金の調整額0百万円及びセグメント間取引消去4百万円であります。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	製造業向け	建設業向け	レジャー			
売上高						
一時点で移転される財 又はサービス	1,310	857	611	2,779	—	2,779
一定の期間にわたり移転 される財又はサービス	24	672	69	766	—	766
顧客との契約から生じ る収益	1,334	1,530	680	3,545	—	3,545
外部顧客への売上高	1,334	1,530	680	3,545	—	3,545
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,334	1,530	680	3,545	—	3,545
セグメント利益又は 損失(△)	△154	△191	118	△226	△394	△620

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額△394百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△398百万円、貸倒引当金の調整額0百万円及びセグメント間取引消去4百万円であります。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。